



平成 30 年 4 月 5 日
独立行政法人国立科学博物館

報道関係各位

企画展「沖縄の旧石器時代が熱い！」
開催ならびにプレス内覧会実施のお知らせ

国立科学博物館（館長：林良博）では、4月20日（金）から、企画展「沖縄の旧石器時代が熱い！」を開催いたします。

本企画展のオープンに先立ち 4月19日（木） に、別添のとおり プレス内覧会 を実施いたしますので、併せてご案内申し上げます。

国立科学博物館は、4月20日（金）から6月17日（日）の期間で、企画展「沖縄の旧石器時代が熱い！」を開催いたします。

日本の人類史でもっとも古く、もっとも長く、もっとも謎に包まれている旧石器時代。そのころの日本列島に暮らした人々は、どのような姿をして、どのように暮らしていたのでしょうか。彼らの生前の姿を現代に伝えてくれる旧石器時代人骨の大半は、沖縄で発見されています。しかし、沖縄では石器などの道具が見つからず、彼らの暮らしぶりは長い間、謎とされてきました。そんな沖縄で、近年、世界最古の釣り針や旬のカニを味わうユニークな暮らしぶり、そして石垣島からの全身にわたる新たな旧石器人骨など、旧石器時代の大発見が沖縄の各地で相次いでいます。本企画展では、そんな熱気あふれる沖縄旧石器時代研究の最新情報をご紹介します。

つきましては展示のオープンに先立ち、4月19日（木）15時00分～16時00分の間、プレス内覧会 を実施します。取材・記事の掲載など本企画展の広報に関して特段のご支援・ご協力を賜りたくお願い申し上げます。

記

【会 場】国立科学博物館（東京都台東区上野公園 7-20）日本館 1 階企画展示室

【開催期間】平成 30 年 4 月 20 日（金）～6 月 17 日（日）

【開館時間】午前 9 時～午後 5 時（金・土曜日は午後 8 時まで）

【入 館 料】常設展示入館料のみでご覧いただけます。

（一般・大学生：620 円 高校生以下および 65 歳以上無料）

【休 館 日】毎週月曜日（4 月 30 日（月）、6 月 11 日（月）は開館）

【主 催】国立科学博物館

【学術協力】沖縄県立博物館・美術館、沖縄県立埋蔵文化財センター

【協 力】株式会社南都（おきなわワールド・ガンガラーの谷）

八重瀬町・うるま市・宮古島市各教育委員会、NHK

【展示概要】別添の「展示概要」参照

【問合せ先】国立科学博物館 事業推進部 企画展示課 担当：鈴木崇宣

〒110-8718 東京都台東区上野公園 7-20

TEL：03-5814-9887、FAX：03-5814-9898、E-mail：kikakuten@kahaku.go.jp

企画展「沖縄の旧石器時代が熱い！」
プレス内覧会のお知らせ
平成 30 年 4 月 19 日（木）15 時 00 分～／国立科学博物館

国立科学博物館では、企画展「沖縄の旧石器時代が熱い！」の開催に先立ち、下記のとおりプレス内覧会を実施いたします。

当日は、当館担当研究者等による展示解説を行いますので、ぜひご参加いただき、記事として取り上げていただければ幸いです。

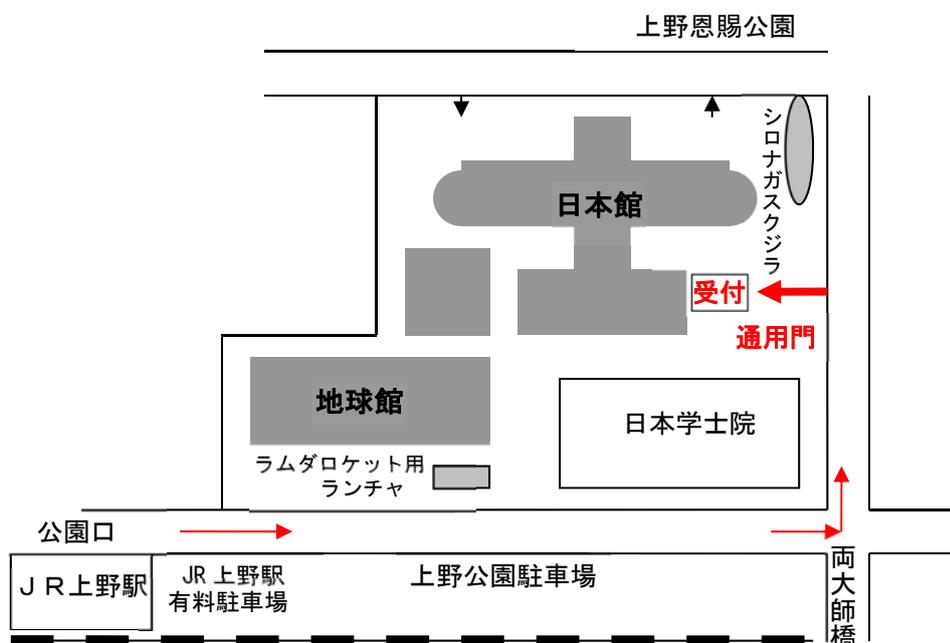
記

【日 時】 平成 30 年 4 月 19 日（木）15 時 00 分～16 時 00 分（受付開始 14 時 30 分～）

【会 場】 国立科学博物館 （東京都台東区上野公園 7-20）

【受付場所】 国立科学博物館 事務棟入口 ※通用門からお入りください。

〈交通のご案内〉 JR 上野駅公園口から徒歩 5 分
東京メトロ銀座線・日比谷線上野駅から徒歩 10 分
京成電鉄上野駅から徒歩 10 分
※駐車場の用意はございません。



当日のスケジュール

14時30分～

受付開始（受付場所：事務棟入口 ※通用門からお入りください）

15時00分～16時00分

展覧会内覧（会場：日本館1階企画展示室）

- ・ 当館担当研究者等による展示解説を行い、皆様からのご質問にお答えします。

国立科学博物館副館長（兼）人類研究部長

篠田謙一

国立科学博物館人類研究部人類史研究グループ研究員

藤田祐樹

慶應義塾大学文学部准教授

河野礼子

- ・ 展示室内の撮影が可能です。

展示監修者のプロフィール



国立科学博物館 副館長（兼）人類研究部長

篠田 謙一（しのだ けんいち）

専門は分子人類学で、日本や中国、台湾、ベトナム、ロシアなどアジア各地の古人骨のDNA解析から日本人の起源を追究しています。また、南米アンデス先住民のDNA解析から、その系統と社会構造について研究を進めています。



国立科学博物館 人類研究部 人類史研究グループ 研究員

藤田 祐樹（ふじた まさき）

専門は形態学で、沖縄を中心に旧石器時代の人類史や動物資源利用について研究しています。サキタリ洞遺跡をはじめ、沖縄県内各地の洞窟遺跡調査に参加しています。

沖縄の旧石器時代が熱い！

展示概要

日本の人類史でもっとも古く、もっとも長く、もっとも謎に包まれている旧石器時代。そのころの日本列島に暮らした人々は、どのような姿をして、どのように暮らしていたのでしょうか。彼らの生前の姿を現代に伝えてくれる旧石器時代人骨の大半は、沖縄で発見されています。しかし、沖縄では石器などの道具が見つからず、彼らの暮らしぶりは長い間、謎とされてきました。そんな沖縄で、近年、世界最古の釣り針や旬のカニを味わうユニークな暮らしぶり、そして石垣島からの全身にわたる新たな旧石器人骨など、旧石器時代の大発見が沖縄の各地で相次いでいます。本企画展では、そんな熱気あふれる沖縄旧石器時代研究の最新情報をご紹介します。

展示紹介

-  **1 沖縄の環境**
沖縄は、どのようにして今の姿になったのでしょうか。地形を形づくる岩石を見て、その成り立ちを考えてみましょう。
-  **2 島に生きるユニークな動物たち**
ヤンバルクイナなどよく知られた動物から、あまり知られていない絶滅動物まで、亜熱帯の森林にすむ多くの固有動物たちをご紹介します。
-  **3 旧石器人の渡来**
豊かな自然が広がる沖縄に、旧石器時代に初めてヒトが渡ってきました。1960年代から続けられる沖縄旧石器時代の研究成果の数々を概観してみましょう。
-  **4 見えてきた旧石器人の暮らし**
サキタリ洞で発見された世界最古の釣り針や、山ほどのカニの殻を調べてわかった旧石器人の暮らしとは…！？
-  **5 新たな人骨発見**
石垣島の白保竿根田原洞穴遺跡で発見された旧石器人骨は、私たちにどんなことを教えてくれるのか、期待がふくらみます！
-  **6 まだまだ熱い！沖縄旧石器時代研究**
今も沖縄各地で続けられる発掘調査は、これからどんな発見をもたらしてくれるのでしょうか。今後に期待したくなる発見の一部を、ご覧ください！

広報用写真提供

広報用として写真をご用意しております。

国立科学博物館ホームページの各種手続き・報道関係資料→写真・施設の貸出からお申し込みできます。
(<http://www.kahaku.go.jp/procedure/rent/index.html>)



1. 企画展「沖縄の旧石器時代が熱い！」
チラシ表面

2. 日本最古の全身骨
(沖縄県立埋蔵文化財センター所蔵)



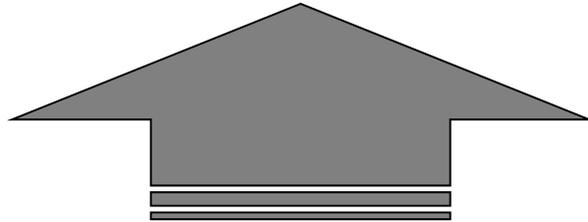
3. 世界最古の釣り針
(沖縄県立博物館・美術館所蔵)

4. 旧石器人(港川人)復元模型
(沖縄県立博物館・美術館所蔵)

【記事利用の際のお願い】

- * 写真使用は本展の紹介のみとさせていただきます。本展終了後の使用はできません。
- * 写真掲載時には、資料のクレジットを必ずご記載ください。
- * 展覧会の開催情報紹介欄に、会期、入館料、開館時間などの基本情報をご掲載いただく場合は確認のため、校正の段階でお送りください。(記事内容をチェックするものではありません。)
- * ご掲載いただいた場合は、掲載誌等をお送りいたしますようお願い申し上げます。

〈広報に関するお問い合わせ先〉 国立科学博物館 事業推進部 広報・運営戦略課 広報戦略担当
電話 03-5814-9855 FAX 03-5814-9899
E-mail ; shuzai@kahaku.go.jp
〒110-8718 東京都台東区上野公園7-20



【 返 信 用 紙 】

F A X 番 号

< 0 3 - 5 8 1 4 - 9 8 9 8 >

企画展「沖縄の旧石器時代が熱い！」

プレス内覧会 参加票

(平成30年4月19日(木) 15:00～ ※受付:14:30～)

参加をご希望される方は、下記項目にご記入の上、4月18日(水)までに
FAXにてご返信いただければ幸いです。

お手数をおかけいたしますがよろしくお願い申し上げます。

ご出席

貴社名 _____

貴メディア・所属部署名 _____

ご芳名 _____

連絡先

住所：〒 _____

TEL： _____ FAX： _____

メールアドレス： _____

備考 _____



Amazing discoveries in Paleolithic Okinawa!

沖縄の旧石器時代が熱い!

2018年4月20日金～6月17日日



白保竿根田原洞穴遺跡



日本最古の全身骨



旧石器人(港川人)復元模型



世界最古の釣り針



サキタリ洞遺跡

国立科学博物館 (東京・上野公園)

開館時間 | 午前9時～午後5時

(金曜・土曜日及び4月29日(日)・30日(月)、5月3日(木)は午後8時まで
5月1日(火)・2日(水)・6日(日)は午後6時まで)
※入館は各閉館時刻の30分前まで

休館日 | 毎週月曜日(4月30日(月)・6月11日(月))は開館

入館料 | 一般・大学生 620円(団体500円)

高校生以下および65歳以上無料(常設展示入館料のみでご覧いただけます。)

主催 | 国立科学博物館

学術協力 | 沖縄県立博物館・美術館、沖縄県立埋蔵文化財センター

協力 | 株式会社南都(おきなわワールド・ガンガラーの谷)
八重瀬町・うるま市・宮古島市各教育委員会、NHK



国立科学博物館
National Museum of Nature and Science

沖縄の旧石器時代が熱い!

日本の人類史でもっとも古く、もっとも長く、もっとも謎に包まれている旧石器時代。そのころの日本列島に暮らした人々は、どのような姿をして、どのように暮らしていたのでしょうか。彼らの生前の姿を現代に伝えてくれる旧石器時代人骨の大半は、沖縄で発見されています。しかし、沖縄では石器などの道具が見つからず、彼らの暮らしぶりは長い間、謎とされてきました。そんな沖縄で、近年、世界最古の釣り針や旬のカニを味わうユニークな暮らしぶり、そして石垣島からの全身にわたる新たな旧石器人骨など、旧石器時代の大発見が沖縄の各地で相次いでいます。本企画展では、そんな熱気あふれる沖縄旧石器時代研究の、最新情報をご紹介します。

1

沖縄の環境

沖縄は、どのようにして今の姿になったのでしょうか。地形を形づくる岩石を見て、その成り立ちを考えてみましょう。



亜熱帯の森

5

新たな人骨発見

石垣島の白保竿根田原洞穴遺跡で発見された旧石器人骨は、私たちにどんなことを教えてくれるのか、期待がふくらみます!



9千年前の石器

4

見えてきた旧石器人の暮らし

サキタリ洞で発見された世界最古の釣り針や、山ほどのカニの殻を調べてわかった沖縄旧石器人の暮らしとは…!?



2万年前のビーズ



旧石器人の暮らし
(アニメ)

2

島に生きるユニークな動物たち

ヤンバルクイナなどよく知られた動物から、あまり知られていない絶滅動物まで、亜熱帯の森林にすむ多くの固有動物たちをご紹介します。



ヤンバルクイナ



イシカワガエル

3

旧石器人の渡来

豊かな自然が広がる沖縄に、旧石器時代に初めてヒトが渡ってきました。1960年代から続けられる沖縄旧石器時代の研究成果の数々を概観してみましょう。

6

まだまだ熱い! 沖縄旧石器時代研究

今も沖縄各地で続けられる発掘調査は、これからどんな発見をもたらしてくれるのでしょうか。今後に期待したくなる発見の一部を、ご覧ください!

【講演会】

【会場】日本館 2階講堂 【時間】14:00~16:00 【定員】100名

【事前申込制】

◆第1回 5月12日(土)「海を渡り、島で暮らした旧石器人」

◆第2回 6月9日(土)「白保竿根田原洞穴遺跡の発掘」

【プレミアムフライデー ギャラリートーク】

本展担当の研究者による展示解説を実施

【会場】日本館 1階企画展示室 【時間】18:00-18:30

【事前申込不要】

◆第1回 4月27日(金) ◆第2回 5月25日(金)

※講演会、ギャラリートークの詳細はホームページをご覧ください。
<http://www.kahaku.go.jp/>

【交通ガイド】

◆JR

「上野駅」公園口から徒歩5分

◆東京メトロ 銀座線・日比谷線
「上野駅」から徒歩10分

◆京成電鉄

「京成上野駅」から徒歩10分

※駐車場はありませんので、お車での来館はご遠慮ください。

〒110-8718 東京都台東区上野公園7-20
TEL: 03-5777-8600 (ハローダイヤル)
FAX: 03-5814-9898

